



バーチャルスライド作成サービス

札幌皮膚病理研究所が**低価格**でバーチャルスライドをお作りします。

詳細はこちらから→ <http://www.sapporo-dermpath.com/NDPContract/NDPContract.html>

バーチャルスライド特集 ①

バーチャルスライドとは

・ガラス標本(スライド)を専用機器でスキャンし、データをデジタル化したものです。パソコンを利用して顕微鏡と同じ感覚で、好きな部分を好きな倍率で病理組織像を見ることができます。

スキャン専用機器について

・当研究所では標本のスキャンに、浜松ホトニクス社製 NanoZoomer Digital Pathology (NDP)を使用しています。

デジタル化→
したスライド



奥の白い機械がスキャン本体、手前が操作モニターです。

スキャン本体の扉を開けてスライドフィーダーをセットします。



スライドフィーダーをセットしたところです。一度に最大210枚のスライドをセットできます。

スライドフィーダーを取り出すと、こんな風になります。



1本に30枚スライドが入ります。

バーチャルスライドシステムを導入しようと考えたきっかけについて ~木村鉄宣 談~
(浜松ホトニクス社 インタビュー記事より、一部抜粋)

ガラススライドのデジタル化、データベース化、それとコンサルテーションで利用したいというのが主な目的でした。ガラススライドをデジタル化して保存できれば、病理組織検査依頼書、報告書などと一緒にデータベース化ができ、保存や検索がとて簡単になります。患者さん毎の病期進行の履歴をすぐに確認できるなど、非常にメリットがあると感じていました。また、珍しい症例を保存しデータベース化することで、研修、指導、カンファレンスなどで容易に画像検索できるようになることも魅力のひとつです。

バーチャルスライドの特性

- ◆PCでデータ管理ができます。
- ◆ガラス標本の出し入れ・整理の手間が大幅に省けます。
- ◆データとPCがあれば画像が確認でき、インターネット経由でどこにいても診断が可能です。
- ◆画像はjpegとして保存が可能です。撮影装置のついた顕微鏡が必要ありません。
- ◆検討会・学会用にデジタル化したデータを用いることができます。同じガラス標本を人数分作成したり、人数分の顕微鏡を揃える費用と時間が省けます。

一 下記ホームページも、ぜひご覧下さい。 一
皮膚病理倶楽部 <http://www.sapporo-dermpath.com/dermpath-club/dermpathclub-top.html>

当研究所でのバーチャルスライドの活用法

- ◆ホームページへの掲載
- ◆コンサルテーション
- ◆CPCや症例検討会
- ◆研修医教育
- ◆バーチャルスライド作成代行サービス



← 皮膚病理
倶楽部



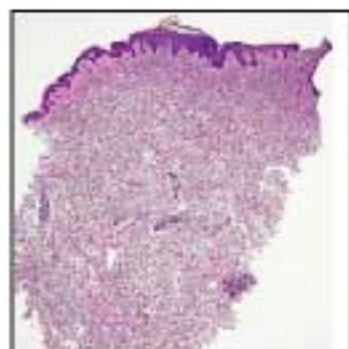
← 研修医は豊富な症例を自由に閲覧できます。

学術業績・学会発表・最近の活動

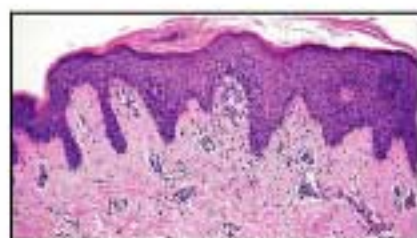
- 第107回日本皮膚科学総会 2008.4.18-20
ポスター発表 演題「悪性黒色腫との鑑別が困難であった Pigmented Spitz's nevus の一例」
発表者：田宮久詩、加茂理英、曾和順子、粥川朋哉、石井正光、木村鉄宣、田中勝 (敬称略)
- 第97回日本病理学会総会 2008.5.15
「Very early stage of malignant melanoma」
発表者：新井栄一、金玲、木村鉄宣、安齋眞一、小川史洋、廣瀬隆則、清水道生 (敬称略)

今月の症例

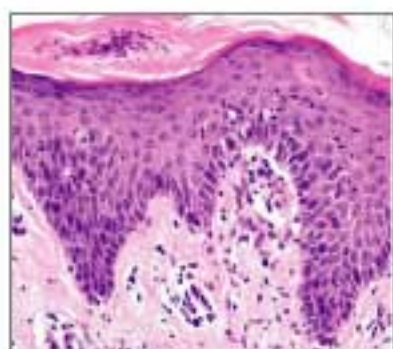
36才、女性 生検部位：下腹部
臨床診断：psoriasis 病理組織診断：Psoriasis, early lesion



真皮上層に血管周囲性の炎症細胞浸潤がある。表皮には肥厚があり、その部分でhyperkeratosisもある。



rete ridge が軽度ながら延長し、hyperkeratosis がある。一部には部分的にparakeratosis もある。



一部には部分的に parakeratosis があり、角層内には好中球が浸潤している。真皮乳頭層と網状層の上層では血管が拡張している。

セミナー情報

お早めのお申し込みには割引が適用されます！
(基礎編大阪の早割は6/19お申込分まで。基礎編東京会場の早割は終了しました。)

第7回 皮膚病理講座 基礎編 (開催地：東京)
「病理用語と各種皮膚疾患の病理組織像の解説」

日時 2008年6月7日(土) 10時～17時
6月8日(日) 9時～16時

会場 日本医科大学 千駄木キャンパス

共催 日本医科大学皮膚科

定員 100名

参加費 32,000円

講師 木村 鉄宣 (札幌皮膚病理研究所 所長)

助言者 福本隆也 (奈良県立医科大学皮膚科学教室)

開催間近!

第8回 皮膚病理講座 基礎編 (開催地：大阪)
「病理用語と各種皮膚疾患の病理組織像の解説」

日時 2008年7月20日(日) 10時～17時
7月21日(月・祝) 9時～16時

会場 大阪市立大学医学部 阿倍野キャンパス

共催 大阪市立大学医学部皮膚科

定員 100名

参加費 32,000円

(早期申込割引参加費：28,800円)

講師 木村 鉄宣 (札幌皮膚病理研究所 所長)

助言者 福本隆也 (奈良県立医科大学皮膚科学教室)

曾和順子 (大阪市立大学皮膚科)

この他にも様々なセミナーを開催していく予定です。

・第1回 皮膚病理講座 診断編「皮膚病理診断への第一歩」(於：東京、2008.11.23-24開催)

・第15回札幌皮膚病理セミナー(於：札幌、2008.9.14-15開催)

「臨床皮膚科に役立つ皮膚病理学」(主催：NPO法人 皮膚病理発展推進機構)

詳しいお申し込み方法・新着情報はホームページ (www.sapporo-dermpath.com) をご覧下さい。

What's new 研究所

～社員旅行 in 韓国～
第一班 高野・中西 (2008.4.23-26)

今年の社員旅行は韓国です。
まず2名が楽しんで来ました。



かつて王様が住んでいた景福宮



チマチョゴリも着ました。
韓国旅行、大満喫の2人。



ソウルタワーからの夜景↑。ガイドさんによると、最近ではこういう所からの撮影も大丈夫になったそうです。

韓国に来たらやっぱりコレでしょう。焼き肉!! →



↑
そしてキムチ!!

札幌皮膚病理研究所

〒001-0018 札幌市北区北18条西3丁目2-21 TEL: 011-756-4810 FAX: 011-756-4842

e-mail: office@sapporo-dermpath.com website: <http://www.sapporo-dermpath.com>

編集担当：和田 ひろみ